

「勝手にくま鉄検定」第10セット目 に挑戦しましょう！

- 1 2019年（令和元年）10月1日から消費税率が8%から10%に改定されたことに伴い、人吉温泉駅から湯前駅までの大人の運賃はいくらになりましたか。

①690円 ②700円 ③710円 ④720円

- 2 老朽化で廃止された旧型車両（KUMA1、KUMA2）が留まっている駅は何駅ですか。

①川村駅 ②おかどめ幸福駅 ③あさぎり駅 ④多良木駅

- 3 レールウィングがあるこの駅から徒歩2分の所に、「まんが美術館」があります。これは何駅ですか。

①多良木駅 ②東多良木駅 ③新鶴羽駅 ④湯前駅

- 4 くま川鉄道にある14の駅のうち、駅構内に黄緑色のカッパの像が置かれているのは何駅ですか。

①川村駅 ②おかどめ幸福駅 ③あさぎり駅 ④多良木駅

- 5 くま川鉄道にある駅のうち、ホームが弓なりにカーブしている駅が2つあります。それは湯前駅と何駅ですか。

①相良藩願成寺駅 ②おかどめ幸福駅 ③東免田駅 ④東多良木駅

- 6 次の文の【 ア 】、【 イ 】に入る数字等を順に並べたとき、正しいものはどれですか。

くま川鉄道は、人吉球磨の市町村と、民間の出資による株式会社、いわゆる第【 ア 】セクター方式で運営されており、利用客の【 イ 】割が沿線の高校に通う通学生で、通学列車として利用されています。

①一、6 ②二、7 ③三、8 ④四、9

- 7 1989年（平成元年）10月1日、JR九州（九州旅客鉄道）からくま川鉄道に移行した後に、駅名が変更になった駅は全部でいくつありますか。

①3 ②4 ③5 ④6

- 8 くま川鉄道に関する次の記述のうち正しいものはいくつありますか。

☐ JR人吉駅と人吉温泉駅の住所は異なる。

- イ 人吉温泉駅から湯前駅に向かうと、その間の駅の標高は例外なくだんだん高くなっていく。
- ウ 全14駅の駅名表記の文字数は、2文字表記と4文字表記の駅が同数で、それぞれ4駅ずつある。
- エ 国鉄湯前線時代には、正面衝突で多数の重軽傷者が出る重大事故が発生した記録があるが、くま川鉄道に移行してからは脱線や転覆等の大きな事故は発生していない。
- ①1 ②2 ③3 ④4

9 くま川鉄道にある14の駅のうち、駅間距離が一番長い区間と一番短い区間を順に並べてみました。次のうち正しい組合せはどれですか。

- ①長：人吉温泉駅～相良藩願成寺駅、短：東多良木駅～新鶴羽駅
- ②長：肥後西村駅～一武駅、短：東免田駅～公立病院前駅
- ③長：おかどめ幸福駅～あさぎり駅、短：木上駅～おかどめ幸福駅
- ④長：公立病院前駅～多良木駅、短：川村駅～肥後西村駅

10 くま川鉄道が保有する5つの車両（田園シンフォニー）の諸元をまとめてみました。この7つのうち誤りは全部でいくつありますか。

ただし、諸元の中に「前後」とあるのは、KT501～505で若干仕様が異なることによるものです。また、2019年（令和元年）8月から9月にかけて行われた車体改造前とします。

全長：25m、車両定員：110人前後、空車時の車両重量32.2トン前後、エンジン：ガソリン機関、排気量：11ℓ（11,000cc）、出力：242.7kW（330馬力）、燃費：5.7km/ℓ

- ①1 ②2 ③3 ④4

いかがでしたか？

それでは、「勝手にくま鉄検定」第10セット目の正解と解説です。

## 1 ②700円

改定前は690円でしたが、10円値上げになり700円になりました。  
ちなみに、人吉駅前から湯前駅前までの産交バスの料金は改定後も据え置かれて、940円です。

## 2 ③あさぎり駅

この2両は、写真のとおり随分朽ち果てていますが、週末を中心に運行される観光列車「は



ぴねすトレイン」があさぎり駅に到着した際に売店やプレゼントの引き渡し会場として利用されています。

### 3 ④湯前駅

この美術館（写真）は正面玄関は、湯前町出身の政治風刺漫画家である那須良輔（なすりょうすけ）氏の偉業を記念して、1992年（平成4年）11月に開館したものです。建物は、人吉・球磨地方の郷土玩具である「きじ馬」をモチーフに設計された熊本アートポリス参加作品です。独立した5棟の建物のうち、3棟が美術館で2棟が公民館となっています。

那須良輔氏は、政治や経済、環境、国際的な問題から身近な暮らしを漫画で表現されました。風刺の効いたマンガの数々は、今でも思わずニヤッとさせられるものばかりです。



### 4 ①川村駅



日本人にとってカッパは親しみやすい妖怪だからでしょうか、全国各地にカッパ伝説が残り、その像を見かけるわけですが、川村駅のカッパは写真のとおり、特に目が可愛いと思います。お酒（球磨焼酎？）の徳利（とっくり）を持っていて、「カッパ黄桜」のCMの影響を受けているのかもしれません。

調べてみると、近くを流れる球磨川の支流・川辺川にカッパ伝説があることに由来するようで、村内にはカッパの墓があり、相良村のゆるキャラは「サガラッパ」というのだそうです。

調べてみると、近くを流れる球磨川の支流・川辺川にカッパ伝説があることに由来するようで、村内にはカッパの墓があり、相良村のゆるキャラは「サガラッパ」というのだそうです。

### 5 ①相良藩願成寺駅

人吉駅・人吉温泉駅を下り方面に向かうと、JR肥薩線とくま川鉄道の線路共有区間を通過した後、分かれて800mほど併走します。相良藩願成寺駅のちょっと手前から、両路線の





間隔が少しずつ開き始め、くま川鉄道も肥薩線もどちらも右側にカーブ（写真①は相良藩願成寺のカーブ）していますが、肥薩線のほうはより大きくカーブして球磨川第三橋梁のほうに向かいます。駅ホームの中央から、肥薩線の歩行者用踏切（警報器付き）が見えます。

ちなみに、相良藩願成寺駅は人吉高校の最寄り駅で、朝夕は通学生で賑わいますし、近くに元プロ野球巨人軍監督で「打撃の神様」と呼ばれた川上哲治氏の生家跡（写真②）があり、時折尋ねてくる熱心なファンを見受けることがあります。



## 6 ③三、8

経済活動の担い手を分類するとき、基本的に、第一セクター（国や地方公共団体が出資して経営する公企業）、第二セクター（私企業）、そして第三セクター（自治体が出資した会社、つまり官と民の中間的企業のこと）の3つに分類することができます。人吉市から毎年公表されている経営評価表を見ても分かるように、くま川鉄道株式会社の代表者は松岡隼人市長、取締役社長には民間（美容師）出身の永江友二氏が務めています。

ちなみに、くま川鉄道の主要株主は人吉市で15.8%、次いであさぎり町の11.07%、次いで多良木町の8.89%の順に並びます。

くま川鉄道の主なお客さんは地元の高校に通う高校生たちで、実に8割を占めています。

## 7 ①3

人吉駅→人吉温泉駅（2009年〔平成21年〕に「SL人吉」の運転開始に伴い改名）、東人吉駅→相良藩願成寺駅（1989年〔平成元年〕10月1日にJR九州湯前線がくま川鉄道に転換された際に改名）、免田駅→あさぎり駅（2009年〔平成21年〕に市町村合併に伴い改名）の3駅です。

あさぎり駅の駅員さんと話していたら、年配者の中には、いまだに「免田駅」とおっしゃる方もいるそうです。

## 8 ②2

正しいものはアとウの2つです。順番に確認しましょう。

アについては、JR人吉駅の住所は「人吉市中青井町326-1」で、人吉温泉駅の住所は「人吉中青井町265」で異なります。

イは難しかったかもしれません。基本的にはだんだん高くなっているのですが、例外があり、川村駅だけが前の相良藩願成寺駅から0.3mと、わずかに標高が下がります。参考までに各駅の標高（m）は次のとおりです。人吉温泉：106.6→相良藩願成寺：114.8→川村：114.5→肥後西村：118.4→一武：123.5→木上：129.8→おかどめ幸福：139.9→あさぎり：151.9→東免田：152.8→公立病院前：153.5→多良木：159.7→東多良木：160.8→新鶴羽：182.5→湯前：188.9

ちなみに、湯前駅と人吉温泉駅の標高差は83.3mあり、全長24.8kmに対する勾配を水平距離1000mあたりに換算すると3.33mになります。一方、JR肥薩線（川線）の八代駅と人吉駅間51.8kmでの標高差101.1mで同じ計算をすると1.95mとなり、くま川鉄道のほうが断然勾配が急であることが分かります。

ウも正確な駅名の表記を正確に覚えていないと正解には辿りつけません。2文字：川村、一武、木上、湯前の4駅、3文字：東免田、多良木、新鶴羽の3駅、4文字：人吉温泉、肥後西村、あさぎり、東多良木の4駅、5文字：公立病院前の1駅、6文字：相良藩願成寺、おかどめ幸福の2駅です。

エの文中にある重大事故は、1970年（昭和45年）11月15日に発生しました。湯前駅で貨車の入替作業中に、連結時のショックで木材を積んだ貨車2両が下り勾配を暴走し、多良木～東免田駅間で信号待ちしていたディーゼルカーと衝突し、乗客90人が重軽傷を負っています。イの解説でも触れたように、湯前駅から見て多良木駅は30m近く標高が下がる急勾配であり、一旦流転を始めると、安全側線（衝突を防止する目的で本線とは異なる線路へ列車を進入させるために設ける停車場内の短い側線）に誘導しない限り、止めるのは難しいかもしれません。

なお、くま川鉄道のホームページ上の「くま鉄の歴史」のサイトには、過去の事故についても載っており、1995年（平成7年）7月4日に大雨で相良藩願成寺～川村間で、法（のり）面が崩落し、車両転落事故が発生していたことが分かります。さらに、2018年（平成30年）9月2日に人吉温泉駅構内でKT505車両が脱線事故を起こしたことも載っていますが、こちらは最近のことですし地元紙でも大きく報じられたので記憶に新しいところかもしれません。

## 9 ②長：肥後西村駅～一武駅、短：東免田駅～公立病院前駅

人吉温泉駅と湯前駅の間各駅間距離は次のようになります。

人吉温泉駅～【1.5km】～相良藩願成寺駅～【2.9km】～川村駅～【1.4km】～肥後西村駅～【3.4km：最長】～一武駅～【2.1km】～木上駅～【1.7km】～おかどめ幸福駅～【2.0km】～あさぎり駅～【2.

4 km】～東免田駅～【1.1 km：最短】～公立病院前駅～【1.3 km】  
～多良木駅～【1.9 km】～東多良木駅～【1.6 km】～新鶴羽駅～【1.  
5 km】～湯前駅

## 10 ③3

この問題は少し難しかったかもしれませんが、誤りは全長とエンジンと燃費の3つです。

まず全長ですが、25mではなくて18.5mです。25mというのは、東海道・山陽新幹線のN700系16両編成のうち中間車14両の長さになります。（先頭部はノーズの関係で少し長く27.35m）

機関は多くの自家用車に採用されているガソリンエンジンではなく、バスやトラックに採用されているのと同じ、軽油が燃料のディーゼルエンジン（11ℓ、直列6気筒）です。

燃費は1ℓ当たりわずか1.7kmで、「そんなに走らないのか？」と驚かれるかもしれません。

なお、乗車定員：110人前後の内訳ですが、KT-503（「春」（ベージュ色））の場合、座席が42人、立席が68人の計110人です。（車体改造後の定員については、方々探しましたが資料がありませんでした。多分、立席が増えた分、定員は増えているはずです）